リスニング教育教材としてのワールド・ニュース利用方法の研究

How to Use World News as a Teaching Material in Listening Education

林 正雄 Masao Hayashi

(平成14年10月7日受理)

はじめに

本稿はテレビで放映されているワールド・ニュースを大学の英語教育の現場で教材化する試みである。対象となる教科科目は、時事英語関連の専門科目、および共通英語を想定している。

大学の英語教育では、4技能のバランスある習得を目指すとは言うものの、リスニングについては、 出来合いの教材をそのまま教師が使用することが多く、教材作成に教師自身が関わることが少ない。

日本人にとっての英語リスニングの難しさや問題点がどのようなことなのかを理解し、それに対する適切な対応策を講じるためには、教師自身が身を持って英語音声を聞き取る体験を踏まえて対処することが一番の近道である。

ワールド・ニュースの書き取りは、単にリスニング力を鍛えるばかりではなく、気に入った表現を自 分の表現として取り込む意欲を育てることによって、英語での表現力を強化する可能性を持っている。

教材としてワールド・ニュースを用いた授業に参加した学生の感想を参考にしながら、ワールド・ニュースを用いたリスニング教育のこれからの展開を考察してゆく。

1-1. レジオネラ感染症

(Outbreak of Legionnaires' Disease) 2002. 08. 03. AM 6:00. BBC.

<大意>

毎年夏場を迎えると、このレジオネラ感染症の ニュースが報道される。抵抗力の低下している 人にとっては致死率の高い感染症なので、ニ ュースとしての緊張度が高い。レジオネラ菌は エアコン冷却装置の温水の中等で繁殖する。大 発生することはまれであるが、空調設備などに よって多数の感染者を出す。この感染症が 「在郷軍人病」と訳されるのは、1976年米国フィラデルフィアの American Legion 大会で発生したことによる。潜伏期間は、普通三日から六日。筋肉痛や熱といった、インフルエンザに似た症状を起こす。8月3日の報道から始まったこのニュースは、8月21日に地元アート・センターの空調設備に発生源が特定されて騒ぎが収まった。その間に4名の死者を出した。

<英文ニュース・スクリプト>

There's a major health scare tonight in

the Northwest of England after the country's worst outbreak of legionnaires' disease for a decade. It's scented in Barrow-in-Furness in Cumbria. Twenty people have the potentially fatal disease. Another eleven are suspected cases. Officials fear up to a hundred others could also have been infected including visitors who passed through the town. Let's go straight to Barrow now, to our correspondent there Richard Bilton. Ah, Richard, do you know what caused this outbreak?

I don't know. Part of the horror of this really is that we just don't. We know it's a water-born disease in things like air conditionings in a number of buildings in town that are being investigated. But the real horror and the terror for the people who live in this community is it's thought that this disease has been present here since July the first and we really don't know what damages it has done.

It is from this control room that the response to this outbreak is being supervised. But progress is slow, still no known source, advice being offered is still general, a hundred cases are predicted. It's thought a number of those will lose their lives.

We believe that in terms of the numbers involved, this will probably make it the largest outbreak of the legionnaires' disease in the United Kingdom, therefore it is very serious indeed.

And how difficult the situation is it for you to do with?

It's obviously a very significant situation, for both are relatively small hospitals. They have to cope with our project. They only started assembling details of this outbreak last night. This afternoon's press conference called for anyone in Barrow with pneumonia-like symptoms to see their GP immediately. A whole town warned it could affect them. Meanwhile the search for the source of this outbreak continues.

How concerning is it for you? You don't know

It's very concerning. We need to know exactly where the source is. But it's not surprising that we don't know. We've identified the potential sources. My understanding is that the local authorities have closed down one potential source which exists in the center of Barrow town.

So what can you say to the people who live in Barrow? They will be very worried.

I would say, "Don't panic." We believe that the likely source is contained.

It takes ten days for the disease to show itself. The community is terrified about what is to come.

One thing they were stressing at the press conference in a hospital today was that this isn't something that can be passed person to person, so that's a good thing if you like. And we have heard in the last hour this building has been closed down while it's investigated. But in truth, this whole investigation is so

new. I think it will be days before hard facts are known. Darryl. Richard, thank you, very much.

So what more do we know about legionnaires' disease. Well, Fergus is here to tell us more.

Fergus, how dangerous is this disease? Well Darryl, obviously this is an extremely serious public health problem we're talking about here.

So what exactly is legionnaires' disease? Well, this is the legionnaires' bacterium, the bug that causes it. The bacterium thrives in warm water, especially in air conditioning systems. It causes a form of pneumonia. There're 200 cases here a year, most isolated incidences. Large outbreaks are rare. Britain's worst was at Stafford General Hospital in 1985, when 23 people died. The bacteria were traced to the water cooling system of the air conditioning. Three years later, three people died in an outbreak of a broadcasting house in London also traced to the water cooling system.

Now the disease in Barrow was first identified in the United States. It gets its name from a group of army veterans who contracted legionnaires in Philadelphia in 1976. Thirty-four people died.

So how was it spread? Breathing in tiny water droplets in the air from a contaminated water system is the likeliest way. It's crucial to remember it's not infectious. So you can't catch it from anyone else. The incubation period is usually 3 to 6 days and it causes a flu-

like illness with muscle aches and fever.

Legionnaire kills about one in seven
people who get it, but the death rate may
be higher in those already sick. But
antibiotics are effective in treating it and
patients usually make a full recovery.

Legionnaires' disease is a serious disease, but it's a rare disease. And we only hear about between a hundred and fifty, two hundred cases a year in this country. And the lot of those ..., roughly about half of those are actually contracted abroad as a result of being affected in different country.

The key thing of course is for public health officials in Barrow to identify the source of the outbreak and decontaminate it. But anyone in the immediate area with flu-like symptoms is strongly advised to see their doctor. Darryl.

Fergus, thank you, very much.

<日本語スクリプト>

イングランド北西部で、レジオネラ菌による病気が発生しました。この10年で最大の流行です。中心は、カンブリア州のバロウ・イン・ファーネス。20人が感染しているほか、11人に感染の疑いがもたれています。当局はこの町を訪れた人も含め、100人あまりが感染した疑いがあると見ています。では、バロウからビルトン記者に伝えてもらいます。流行の原因は何でしょうか。それは恐怖の一部でもあるんですが、まだ分かっていないんです。エアコンなどの水で感染する病気ということは分かっていて多くの建物が、調査中です。住民がこだわっているのは、この程度の被害が出たのかまだ分からないことなんです。

ここがコントロール・ルーム。病気への対応を 指示しています。しかし、進展は遅く、感染源 はまだ特定されておらず、アドバイスも一般的 なものに留まっています。感染者は100人あま りと予想され、中には命を落とす人が出てくる と思われます。

数から行くと、イギリスにおけるレジオネラ病 の最大の流行だと思うと、地域の医療関係者は 言います。

対応はどの程度困難なのでしょうか。

深刻な状態です。かなり小さい病院が130人もの患者を扱うことになります。全体像が見え始めたのは、ようやく昨夜になってからのことでした。今日の午後の記者会見で、バロウで肺炎のような症状のある者は、直ちに医者に行くようにと、呼びかけが行われました。

一方で、感染源を特定する作業も続いていま す。「どの程度心配なんでしょうか」と聞かれ た地域の公衆衛生局長は、「非常に心配だ」と答 えています。正確な感染源を知る必要がありま す。可能性のあるところがいくつか分かりまし た。当局が、バロウの中心にある感染源かもし れないところを閉鎖したと聞いています。住民 はとても心配しています。彼らには、なんと言 いたいですか。パニックを起こすな、というこ とです。感染源らしきところは、閉鎖されたと 聞いています。病気の潜伏期間は十日。住民は これからどうなることかと不安がっています。 記者会見で強調されたのは、この病気が人から 人へとは、感染しないことでした。先ほど、調 査のためこのビルが閉鎖されたとの情報が入っ てきましたが、調査全体が始まったばかりで、 確かな事実が判明するには、何日もかかると思 われます。

ではこの病気そのものについて、ウォルシ記者 に伝えてもらいます。この病気はどの程度危険 なんでしょうか。 明らかに公衆衛生上、非常に深刻な問題です。 どんな病気かを説明します。

レジオネラ菌名は、温かなお湯の中で繁殖します。特に、エアコンの中に多く、一種の肺炎のような症状を引き起こします。年間の感染者は、200人。たいていは個別のケースで、大流行はまれです。イギリスで最大だったのは、1985年、スタッフォード総合病院で25人が死亡した例です。菌は、エアコンの冷却装置から見つかりました。三年後、ロンドンでも3人が死亡しましたが、やはりこれも、エアコンが感染源でした。

この病気が最初に特定されたのは、アメリカでした。1976年フィラデルフィアで在郷軍人レジオネールのグループがこの病気になったことから、レジオネラという名前が付けられました。34人が死亡したケースです。

ここで感染の仕方を説明しましょう。私たちは 空気と一緒に、細かな水滴を吸い込みます。そ こに菌がいると感染すると思われます。ただ し、人から人への感染は、ありません。潜伏期 間は、普通三日から六日。筋肉痛や熱といっ た、インフルエンザに似た症状を起こします。 七人に一人が死亡しますが、すでに症状が出て いる場合は、死亡率もう少し高いかもしれませ ん。抗生物質が有効で、患者は完全に回復しま す。

これは深刻な病気ですが、非常にまれな病気でもあるんです。イギリスで一年間に報告される症例は、150から200に過ぎません。そして、その半分は海外で感染します。バロウの当局が何よりもやらなければならないのは、感染源を特定し、消毒することです。あの地域にすんでいる方、インフルエンザのような症状があれば、直ちに医者のところに行くように指示されています。

<語句説明>

- legionnaires' disease: 在郷軍人病:死亡率の高い急性肺炎。語源: 1976年米国フィラデルフィアの American Legion 大会で発生したことによる。
- scent: 人が〉〈秘密などを〉かぎつける。scent danger 危険に気づく。
- Barrow-in-Furness: バロ・イン・ファーネス《イングランド北西部 Cumbria 州南部の工業都市,7万》
- Barrow: ...丘, ...山。主に英国の地名に用いる。
- Furness: ファーネス 《イングランド北部 Cumbria 州の南西部 Irish 海に突き出た半 島を成す地方》。
- GP: general practitioner. 一般開業医。
- affect: cause disease: to infect or damage somebody or something with disease.
- contain: hold back or restrict: to restrict the movement, spread, or influence of a strong enemy, force, disease, or idea.
- hard facts [evidence]:動かぬ事実[証拠].
 事実・証拠など〉厳然たる,確実な,信頼性のある,具体性のある
- bacteria:(複)(単) bacterium・バクテリア,細菌。語源:ギリシャ語「小さなつえ」の意。
- ・ spread:〈病気などを〉蔓延(まんえん)させる。
- decontaminate:〈病室などの〉(病原菌による)汚染を除く,浄化する。

<聞き取りにくかった個所>

Barrow-in-Furness は、burrowing などで辞書を引いても見つからない。Furness で後方検索すると容易に検索可能である。[/æ/]と [/ʎ/] をニュース音声で聞き分けることはnative Japanese にとって容易ではないことがある。

- immediate area の音声連結により [イミーディア・テアリア] になる。
- contracted legionnaires は音声が連結されて、 contractedly と聞き取ってしまうと意味が取れなくなる。
- decontaminate it を decontaminated 聞き 取ってしまうと意味が取れなくなる。

<学生の感想>

・レジオネラ菌は、微生物学の授業で学び、恐ろしい菌だということは知っていたので、それがイギリスで広がっているなんでほんとに怖いなあと思いました。すごくためになりました→専門科目の授業内容とワールド・ニュースの話題が、一致した場合に、強い動機付けが生まれる。同様の目標課題に付いて異なったアプローチの仕方が、学生の関心を深める例である。

<教官の感想>

ニュース書き取りの面白い点は、書き取りをしながら、書き取っている英文が自分の表現のように思われてくる点にある。自らが発話しているような感覚を持つことが出来る。受動的に読む行為からは得られない、主体的な外国語運用活動が可能となる。巧みな英文が書き取れるようになると、英文の表現力も着実に定着してゆく。書き取る段階から一歩飛躍して、自分の表現に取り入れることを念頭におきながら作業を進めると、より興味が湧いてくる。

日本人による英語スクリプト作成の目的は、 単に正確なスクリプトを作成することだけでは なく、現実に使用されている音声英語の中で、 どのような音声融合や音声変化がおこり、聞き 取りにくくなるかを調べ、そのような音声変化 に対する聴解力の訓練をすることにある。

南アジア全域を覆う汚染大気 (Asian Brown Haze)

2002.8.13. AM 8:00. BS1, BBC.

<大意>

南アジア全域を覆う茶色の靄は大気汚染によって生じたもので、厚さ3キロの塊となって居座っている。アジアにおける経済成長とともに台数を増してきた車からの排気ガス、インドネシアの焼畑農業によって生み出される野焼きの煙、森林火災、などが原因である。

この靄が太陽エネルギーを吸収して大気温度が 上昇し、モンスーンが発生して洪水を引き起こ す。他方で、靄にさえぎられた地表の表面温度 が下がり一部の地域では雨が減り、旱魃にな る。この夏、世界各地で起きた異常気象の一因 と考えられている。

<英文ニュース・スクリプト>

Scientists have warned of a major pollution threat of brown haze extending for thousands of square miles over Southern Asia. It's two miles deep, and researchers say the pollution is having disastrous effects on rainfall among other things. Clive Miley has sent us this report from Singapore.

Singapore. Mid-afternoon. As motorists get from A to B, high above lingers the so-called Asian brown haze, shifting menacingly across the entire continent. You can't see it. But it's there. These vehicles help feed the toxic cloud of pollutants. Across Asia as economies have grown richer, millions more have taken to the road. It's rush hour now and traffic volume is at its heaviest. The motorcar is the single biggest polluter here, in a land where there is little heavy industry. So Singapore is lucky. In other parts of Asia, traffic is the least of people's worries.

In India, this recent flooding, some

believe, is linked to the haze. It's causing heavier monsoon rains here. In China, it's a different story. Drought. Monsoon rains have been late here. Once again, industrial pollution is a factor.

In Indonesia farmers torching forest to clear the land have been the country's single biggest contributors to the Asian brown haze. Often the smoke spreads for miles blanketing neighboring countries then settling high in the atmosphere. Balancing the needs of ordinary Asians with the need to protect the environment is a huge challenge but one that must be addressed.

Clive Miley. BBC news. Singapore.

<クライブの解説>

So as Clive was saying, those were the effects. What exactly is the brown haze, and how was it caused? Fergus is here once again to explain all. Aren't you, Fergus?

That's right, Hugh. Well, about two hundred scientists were involved in this research of the United Nations. And they're convinced that the Asian brown cloud is changing the weather. Let's have a look at a recent satellite picture of the Bay of Bengal.

You can see the man made cloud. It's this murky haze here, but that's just one bit of it. Pull out to a wider map. And this simulation shows just how enormous the cloud is. Ten million square miles stretching from India across most of South East Asia and ending at China. So what exactly is it? Well, if you're old

enough to remember the London's smog, that'll give you some idea. But this is on a vast scale. The cloud is two miles high. It's made up of tiny bits of ash, and soot from burning wood and from forest fires, and acids from chimneys and car exhaust. This cocktail of pollutants hangs in the atmosphere and stops some of the sunlight from getting through.

Strangely this has two opposite effects. Firstly the cloud absorbs some of that energy from the sun, heating up the skies. That can affect Asian monsoon leading to more flooding in places. But with less sunlight getting through, there's less light for plants to grow and the earth surface becomes cooler. That leads to less rainfall in many places and could trigger droughts. And here's a proof. These're images from NASA. The red area's where the atmosphere is getting hotter. The dark blue shows where the ground in the same place is getting colder. scientists have already known about that pollution but are staggered at the size of this cloud.

We haven't before seen that such a great area being covered by this pollution in the lower layers of atmosphere. It's a very variable animal so it will depend on The circulation depends on the wind direction for example. And therefore, it will drift to different regions in different parts of the season.

Now what we don't know is how big a part nature is playing in all this. The good news is the Asian brown cloud will go away if we cut pollution enough. Of course persuading countries to do just

that, this month's bigger summit is rather more complicated. Hugh. Indeed, Fergus. Thanks very much.

<日本語ナレーション>

南アジア全域に広がる大気汚染について、科学者が警告を発しました。3200メートルもの厚さがあるこの雲の固まりは、降雨などに深刻な影響を及ぼすと科学者は懸念しています。マイリー記者がシンガポールからリポートします。

シンガポールの午後、いわゆるアジアの茶色い 靄のせいで、空気はどんより淀んでいます。こ の茶色い靄はいまや東南アジアの全域を覆い尽 くすまでに広がっています。はっきり目で捕ら えることはできませんが、存在することは確か です。車の排気ガスが、大気汚染を助長しま す。アジアでは経済成長とともに車に乗る人が 急増しました。今はラッシュ・アワーです。交 通量が最も多い時間帯です。ほとんど産業のな いここシンガポールでは、車の排気ガスが公害 の最大の原因です。一方他のアジア諸国は車の 排気ガス以外の原因を抱えて悩んでいます。イ ンドでは、最近の洪水は大気汚染のせいだとい う人がいます。モンスーンによる大量の雨の原 因は、あの茶色い靄にあるというのです。一方 中国では、旱魃が深刻です。モンスーンの雨は まだ降っていません。ここでも、大気汚染が原 因といわれています。科学者のラマラサン教授 です。

アジア全域に広がるとは思っていませんでした。公害は都市部に限られると思っていたんです。それが、都市部以外に急速に広がっています。

インドネシアでは、焼畑農業をするため、野山を燃やすことが大気汚染のもっとも大きな原因です。この野焼きの煙は、時には隣の国まで覆い、はるか上空まで達します。経済と環境保護の両立は、アジアにとって大問題です。しかし、避けて通れない大問題でもあるのです。

<クライブの説明>

リポートで、その影響が分かりましたが、では その茶色い靄の正体はいったい何なのでしょう か。ファーガス記者に解説してもらいます。 国連の研究には、200人の研究者が参加しまし た。そして、アジアの茶色い靄は異常気象をも たらすと確信するにいたりました。これは、ベ ンガル湾の衛星写真です。人間が作り出したこ の雲が、このあたりを靄のように覆っていま す。しかしもっと広い地域を見ると、この雲 は、インドから中国まで、東南アジア全域、面 積にして2600万平方キロメートルを覆い尽く すというシュミレーションがあります。これは 何を意味するのでしょうか。有名なロンドンの スモッグを覚えている方なら理解しやすいかも しれません。でもこれは、それをもっと壮大な スケールにしたものです。雲は、3200メートル もの厚さがあります。森林が燃えて生じた、灰 や煤、車の排気ガスや工場から出る酸化物から なっています。このように汚染物質が大気圏に 滞留するので、太陽光線の一部は、地球に届き ません。

この滞留は二つの正反対の影響を与えます。まず、雲は太陽のエネルギーを吸収するため、大気の温度が上昇します。この結果、アジアではモンスーンが発生し、洪水を引き起こします。しかし、太陽光線の量は減るので、植物の成長は鈍り、地球の表面温度は下がります。この結果一部の地域では雨が減り、旱魃の恐れが高まります。

それでは、NASA、アメリカ宇宙情報局の情報 をご紹介します。赤の部分は、大気温度が上昇 している地域を示していますが、青の部分はそ の地表面の温度が下がっていることを示してい ます。この雲は非常に広い範囲にまで広がって います。

気象特許者のジェフ・ジェンキン博士に話を聞いてみました。地球に近い大気圏でこれほど広い範囲に広がっていることはかつてありませんでした。風向きで広がる方向も変わるので、季

節が変わるたびに、異なる地域に移動してゆきます。自然がどの位この公害に影響を与えているか(受けているか)分かりません。しかし、公害に歯止めをかければ、アジア地域の問題は、なくなるでしょう。今月開催される環境サミットでは、各国に公害の削減に納得してもらうことが、大きな問題となるでしょう。

<教官の感想>

通常のナチュラル・スピードの聞き取りでは、 100%厳密に聞き取る必要はまったく無い。む しろ、必要な要点のみを押さえるコッを学ぶこ とが大切である。

ただし教材を作成する教師にとって、できるだけ正確なスクリプトを作成しようと努力する 行為には、いくつかのメリットがある。

- ・報道内容の細部に渡って、正確な情報が記憶される。
- ・音声融合、文アクセントの把握、機能語にしば しば観察される弱形化された場合の音声変化、 「たたき音」化した音声の正確な把握、添加音の 把握、など実際に聞こえてくる音声で、辞書に 載っている発音記号からは想像がつかない音声 の解明が可能になる。

3. 人工授精時の大失態 (IVF Blunder) 2002.8.1. 8:00 a.m. BS1, BBC.

<大意>

人工授精を行った白人のカップルから、黒人の子が生まれてしまったという、お粗末な出来事。最近医療関係のミスで患者を死なせてしまったと言うニュースが少なくないが、人間の誕生に際しての不手際である。

イギリスで人工授精産業は大規模なもので、年間2万7千組のカップルが治療を受ける。費用は約3千ポンド(55万円)。生まれた赤ちゃんの皮膚の色によって、不手際が発覚したが、これまでにも同様のミスが無かったかどうか気掛かりである。

<英文ニュース・スクリプト>

The press confirmed today that a white woman is the biological mother of black twins who were born after she received fertility treatment. The mix up happened at a fertility clinic, when the wrong sperm might have been used during the woman's treatment. Fergus is here to explain more. Tell us more Fergus. It's a bit complicated, this one.

Well, of course, Hugh and this sort of blunder should be all but impossible. It's devastating for the couples involved and maybe psychologically damaging to the children in the long term. Weeks after the case first came to light, we now know what went wrong. The white couple have undergone blood tests, which confirmed she is the biological mother of the twins. but he is not the father. A black couple who were having treatment at the same clinic have also undergone test, and it now appears he is the father of the children and that's not been confirmed. But how could this happen? It now seems likely this terrible situation is down to a simple mistake. The black man's sperm was used to fertilize the white woman's egg. We can't be absolutely certain, but it seems that's the most likely explanation of how she's found herself to be the biological mother of the two black children.

Now the implications of this blunder are horrifying when you consider the fertility industry in Britain is big business. Every year twenty-seven thousand couples undergo treatment. IVF typically cost around three thousand pounds. There are strict guidelines regarding the labeling of the sperm, eggs and embryos. A witness is present to double check what's been done every time test tube treatment is carried out.

Well, I'd like to believe it is a one-off, because it is very rare for these things to happen. IVF has been around in this country for more than 22 years, and this is the first case that has come to light. There's another case that has been reported in the States few years ago so

There's another case that has been reported in the States few years ago, so there's two cases in the whole of the world. So it's ... it's by anybody's standards is a very, very rare event.

So who gets to keep the babies? Well it's now seems almost certain that the courts would rule in favor of the white mother keeping the twins. Of course the mistake came to light only because of the color of the babies' skin. So despite of what fertility experts say, it must raise the question whether this basic error could have happened before. Hugh. Fergus, thank you very much.

<日本語スクリプト>

不妊治療で黒人の双子を出産した白人女性は、この双子の生物学的母親であることが確認されました。治療を行った医院で精子を取り違えるという手違いがあったようです。 ウォルシュ記者に説明してもらいましょう。 すこし複雑な話ですね。

このような間違い、本来なら起こりえないようなことなんです。しかし、夫婦にとっては大変な打撃です。子供にとっても将来的に、心理的に大きな負担があるかもしれません。事件が明るみに出て数週間後、ようやく問題の所在がわ

かりました。血液検査で、彼女が双子の生物学 的母親であることが確認されましたが、彼は父 親ではありません。黒人夫婦が同じところで治 療を受けていたのですが、この二人にも検査を したところ、彼が双子の父親であるようです。 どうしてこういうことになるんでしょうか。単一 純なミスが原因のようです。おそらく黒人男性 の精子が、白人の卵子と受精したのです。まだ 確証はありませんが、一番確率の高いシナリオ です。白人女性が黒人の双子の母親となったの です。このミス、怖いですね。何しろ不妊治療 はイギリスでは、盛んに行われています。毎年 2万7千組のカップルが、体外受精。普通三千ポ ンドほどかかるんですが、きびしい指針があ り、精子、卵子、受精卵への表示を徹底させて います。そして試験のときは必ず第三者が立ち 会って、ミスが無いようにしなくてはなりませ ん。

私としてはこのようなことが起こるのは、ごくまれだと考えたいのです。この国に22年になりますが、今回が初めてです。アメリカで数年前、一例報告されています。ですから世界中で今まで二件のみです。どう考えてもこれは非常にまれなことです。

では赤ちゃんは誰のものとなるんでしょう。裁判所は白人の母親に双子を与えることはほぼ間違えないと思われます。もちろん今回間違いが明らかになったのは、赤ちゃんの皮膚の色でした。専門家がどう言おうと、基本的な誤りが前にもなかったかどうか心配です。

<語句説明>

- ・ twin: [複数形で] 双生児, ふたご。 one of twins ふたごの一人.
- ・all but: ほとんど.... He is all but dead. 死んだも同然.
- in the long term: 長期で、長期的には、長い目で

- IVF: 体外受精 in-vitro fertilization
- in vitro: 試験管内で(の),生体(条件)外で(の),インヴィトロで. [L] vitrum: glass. (opp. in vivo)
- in vivo: 生体(条件)内で(の),インヴィヴォで (opp. in vitro).[L = in a living (thing)]
- a test-tube baby: 試験管ベビー
- by any standard: どこから見ても、いかなる規準からしても
- one-off: 1 回限りの(こと), 1 個限りの(もの), 一人のため(のもの)。

<聞き取りにくかった個所>

Hugh: youと聞き違える。最後に Hugh が出てくるので、人名と判断できる。

rule: raw と聞き違える。

It's a one-off: one-off の熟語の意味がわからないと聞き取りにくい。

<学生の感想>

- ・なかなか複雑な問題だと思った。普段ではあまり聞かないような内容だから興味深い。いろいろな分野の話が聞けるし、とても良い勉強になると思った。
- ・ 白人カップルの子になりそうだけど、白人男性は複雑な心境だと思う。
- ・ごくまれな現象とはいえ、二件は世界で起きているのだから、私は恐ろしくて人工授精などしたくないと思う。自分の子供とはいえ、皮膚の色が違うとなると、本当だったらたくさんたくさんだいであげたい愛情もなくなってくなんじゃないかな。しかも人工授精するくらいだから、この人たちはみんな自分の子供が欲しくて治療を受けていたと思う。けれどそれが自分の愛している人との子供ではなく、他人との子供だったら、人工授精した意味が無いと思う。ごくまれな現象は、このような治療ではあってはならないことだと感じます。

<教官の感想>

ワールド・ニュース教材を扱った直後、短時間のうちにに書いてもらった学生の感想であるが、鋭い観察力と適切な判断力を読み取ることができる。社会に現実に起きる種々の問題を考えさせることにより、ワールド・ニュースは単に狭い視野の中で、英語力養成を目的とするだけだけで無く、社会的に有用な人材としての総合的判断力を養成する教材として活用することができる。

4. 動物とのおしゃべり

(Talking to animals) 2002.7.23. 9:45 a.m. ABC News.

<英文ニュース・スクリプト>

Finally tonight. Anyone who has ever worked with animals or owned a pet and had the experience sometime of wondering just what their animal is thinking. Some people make a living claiming they know. ABC's Dean Reynolds reports tonight in the first installment of the series we're going to call "Animal Matters".

"Oh, my goodness, my goodness. How are you lost, Stanley?" It's 10 a.m. on a busy work day and Dr. Kim Ogden has just learned that someone she knows has taken a turn for the worse.

We'll talk to Stanley, we'll find out exactly what he has to say for himself. This is Stanley, a twenty-year-old Asian box turtle whose owner says he seems depressed. "He has not eaten, well ... for about two months." So she's turned to Dr. Ogden, an animal communicator. "He told me I have a big head." Well, most

of us say things to animals. Dr. Ogden claims animals say things to her.

Well, I'll hear from a bird, I'll hear form a cat, or I'll hear from a squirrel, or I'll hear from a raccoon.

It's hard to know how many people do this, because animal communicators are not licensed. But it appears to be growing. With web sites now, and even TV shows on the topic. Ogden, whose degree is in public health, says she's had this knack since childhood. Conversing with animals, alive or dead, on paper or in person.

"Hi! Hi, babies!" Ogden's client, Lisa Thompson has three old dogs, and a bad conscience.

I'm feeling so guilty about ... things that have happened with my pets and before it's too late I wanted them to know just how much I love them.

Al and Freddy are females, Baster's a male. Al and I will communicate and then I'll tell you everything, that she actually says

There're itches that can't be scratched and bad backs that need work.

Let me ask'em if he

Oh, he says he has actually been waiting something like that.

Ogden says animals communicate in three ways; sending images, thoughts, or feelings.

I don't interpret the bark, I don't interpret the body language. It's the consciousness to consciousness and the heart to heart. And this summer, Ogden

is giving how to courses.

One, two, three. Come Rover, come.

Most seems to get what they paid for. And they actually seem to hear her voice. "It's interesting", say experts on animal behavior, "but no cigar".

If people saw it more as a hobby to communicate with the animal, I think that's great. But you shouldn't expect too much from it.

None the less, Sarah and her friends are acting on Dr. Ogden's talk with Stanley. Cool off the apartment, turn down the stereo, and trim that plant.

He doesn't like that. He doesn't like that. We hear Stanley's mood is already brightening.

Jean Reynolds. ABC News. Highland Park, Illinois.

<日本語スクリプト>

最後は、動物とのコミュニケーションについてです。動物とかかわる仕事をしたことのある人や、ペットを飼っている人なら、動物が何を考えてるのだろうかと思ったことがあるでしょう。ところが、それがわかるといって仕事にしている人もいます。動物に関する特集、今日は第一弾です。午前10時、忙しい一日の始まりです。

オグデン氏の知り合いの様態が悪化しました。「スタンリーから直接話を聞くわ」。こちらがそのスタンリー。20歳のアジアハコガメです。買主曰く。沈みがちとのことです。二ヶ月くらい食欲がないんです。そこで、アニマル・コミュニケーターのオグデン氏に診てもらうことにしました。

頭がくらくらするそうよ。

一般人は動物に話し掛けるものですが、オグデ

ン氏は、動物が話し掛けてくるといいます。鳥や猫、リス、アライグマも話し掛けてくるんです。アニマル・コミュニケーターに免許はないので、その数はなかなか把握できませんが、増えてはいるようです。ウェッブサイトもあれば、テレビで取り上げられることもあります。公衆衛生の学位を持つオグデン氏は、子供の頃から、生きている動物はもちろん、死んだ動物とも、それが印刷されたものであっても、直接であっても、意思疎通が出来たのだといいます。年老いた犬三匹を飼っているリサ・トンプソンさんは、後ろめたさを感じています。

手遅れになるまで気づかなかったことにひどく 罪悪感があるんです。私がどれだけ愛している か、この子達に知ってほしいんです。メスのア ルとフレディー、そしてオスのバスターです。 アルの話を聞いてみるわね。足の届かないとこ ろが痒いのと、背中が痛いのだそうです。本人 に聞いてみましょう。やっぱりそうしてほしい みたいよ。

オグデン氏は、動物はイメージ、考えていること、感じていることの三つを伝えてくるといいます。

泣き声やボディーランゲージで判断するのではなく、意識と意識、心と心で感じあうんです。 この夏はそのやり方を教えています。

ほとんどの人は、お金を払った甲斐があるようです。彼女の声が聞こえたみたいです。動物行動学の専門家は、興味深いが、それだけのことだといいます。趣味の領域にとどめておけばすばらしいのですが、多くを期待すべきではありません。サラさんはそんなことはお構いまし。オグデン氏が、亀のスタンリーから聞き出したとおりに、部屋を涼しくし、ステレオの音を小さくし、観葉植物の手入れをしました。スタンリーの気分はかなりよくなってきている、ということです。

<語句説明>

- installment: (双書・連載物などの) 1回分,1冊。
- turn for the better: 好転する
- box turtle:アメリカハコガメ
- on the topic of the day: 際物の
- act on: ~に従う、~に従って行動する、~に基づいて行動する、(具体的な) 処置を取る
- but no cigar: 《口》 もうちょっとで当たり [成功] だ, 惜しい, いまいちだ 《カーニバルの芸当で賞に葉巻が出たことから》。

5. ワールド・ニュースについての全般的な 感想

<学生の感想>

- ・一回目に聞いたときは、ほとんど理解できなかったけれど、何度も繰り返し聞くうちに、少しずつ分かってきて面白かった。今まで受けてきた授業と違って、英語が身についてゆくような気がした。(英語科1年)
- ・このような授業はとても楽しく、自然と語彙を覚えようと言う気になれる。BBCのニュースなどめったに見れるものではない。テキストをひたすら読んでゆく授業もいいが、このような授業なら目からも耳からも勉強できて嬉しい。(英語科1年)
- ・英語の聞き取りが面白いものであることが分かりました。暗記物だけだとうんざりしてしまうけど、興味深い話題を英語で聞き取ろうと集中できて満足です。内容も大体わかったし、楽しみながら英語に接することが出来ました。自宅では海外のニュースを英語で聞くのは無理なので、できれば今日みたいな機会を授業の中で作っていただけると嬉しいです。(英語科1年)

<教官の感想>

リスニングは苦手と言う、日本人学生一般の先 入観を排して、やればできるという心理的な自 信をどのようにして植え付けるか。その切り替 えをすることが新入生を迎えた大学での英語教 育の目標のひとつとなる。

学生に見るリスニングの苦手意識はある面で、日本人教師の苦手意識が生み出してきたものと考えられる。「大学受験」を隠れ蓑にして、長い間避けられてきたリスニング教育に接して、戸惑いながらも、くじける様子は見られない。むしろ、健全な克服意欲が表明されていて、頼もしい限りである。英語との結びつきが強い学生(たとえば英語科の学生)にとっては、高度のレベルの教材でも強い興味を示す。

英語専攻以外の学生でも、目新しさも手伝うためか、英語が速すぎて分からないとしながらも、ワールド・ニュースが面白いと言う学生が少なくなかった。その理由としては、報道内容自体が意外性を持っていること、扱われている内容が最新の情報であり、自然科学系の学生にとっては、有益であること、などが考えられる。

それ以外に、学生が面白いと感じているのは、ワールド・ニュースを見た後で、その現実に起きた出来事について、自分の中に生まれた感情を言語的に表現することの楽しさではないかと思われる。この作業においては、ニュース内容に関して、主体的な取り組みが可能の場が与えられる。同じ出来事につい場が与えられる。日本人の国民性によるものであろうか、友達との国民性によるものであろうか、友達との国民性によるものであろうか、友達とのことによりの感想を述べ合うことに意見で、社会的に有意義な問題について、真摯な意見交換が可能になる。その過程で、共同の価値観が確認され、共同体意識が高揚する。そのような理由が考えられる。

<まとめ>

ある発想が日本語を介在することなく、スムーズに英語音声に言語化されるためには、脳内のウェルニッケ言語野 (言語入力)、およびブローカー言語野 (言語出力) に英語の神経回路が生成されていなければならないことが、近年の脳科学の研究成果によって実証されている。多言語使用者は、それだけの種類の言語的神経回路が、脳のこの特定部位に構築されているとのことである。音声を聞いて理解し、音声をもって答えることが必要なのである。聞き取ったニュースの内容をもう一度自分の英語でまとめなおしても良い。

パターン・プラクティスによる棒暗記をする際に用いられる脳の部位と、外国語を自分の言葉として 認知して、記憶に結びつけ、活用する際に用いられる脳の部位は異なっている。文章の文法を理解しよう とするときには、大脳左前頭葉下部にある、こめかみ近くの部位が活発に機能することが知られている。 記憶というものは、情動と結びついている。感動を覚えながら体験したことは長く記憶に留まる。ラ ボ教室の反復練習には、こうした情動的感動の裏づけがない。短期記憶としてすぐに忘れ去られる。大 脳の連合野という部分にあるニューロン(神経細胞)のシナプスが強化された結果できるのが、長期記 憶でないかといわれている。

人間の脳が行う言語機能のうち、文法処理の機能を担っているのは、前頭葉下部にあるブローカー野であることは、機能的磁気共鳴影像法(fMRI)を用いた方法で実験的に証明されている。脳内に言語的な神経回路を作るためには、スピードのある聴覚的刺激が有効である。多量の聴覚的刺激から要点を抽出するための捨象作業がこの神経回路作成に効果的である。ワールド・ニュースを聞いて、映像と音声からの情報を元に、自分なりの情報内容を想像する作業や、その情報内容を自分なりの英語で表現しなおす作業は、この脳内の言語的神経回路の構築に有効である。

ワールド・ニュースの書き取りは、もっぱら英語音声を聞き取る訓練になるが、これを書き出すことによって音声融合の実際について、明確に理解することが出来るようになる。日本語を介在することなく、英語音声を文字化してゆく行為は、英語からの直接的受容能力の育成に貢献するものである。ワールド・ニュース聞き取り/書き取りの問題点は、英語のスピードが速くて、ついてゆけないと学生が思い込んでしまうことである。画像を見ながら、英語音声を繰り返し聞いて、内容を理解する習慣をつければ、着実に音声に慣れてゆく。大学の授業用のテキストでリスニングの練習をしている学生にとって、ワールド・ニュースの発音速度は、最終的な段階の速度である。最終的な目標を早い時期から提示することによって、目標到達のための自分なりの設定が可能になる。なお、本稿英文の音声は、筆者のホーム・ページ(http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~ekmhaya/)に録音されている。

参考文献

- 植村研一:「脳を活性化させる外国語教育」、『言語』 No. 24: pp. 63-70. 1995. (7月号)
- 植村研一:「脳から見た外国語教育(1)」、『LL通信』 No. 193: pp. 21-23. 1997. (2月号)
- ・ 植村研一:『効果的な情意教育の展開』、じほう出版。平成12年11月30日。
- ・ 酒井邦嘉:『言語の脳科学』、中公新書。平成14年7月。
- 酒井邦嘉:「記憶のメカニズム: The Brain Interview 脳を語る-④」、『Find』 Vol. 15. No. 5 1997 9
- W. ペンフィールド (上村忠雄、前田利男訳)『言語と大脳-言語と脳のメカニズム』、誠心書房。
- ・「脳に「文法中枢」」: 讀賣新聞(夕刊), 2 (2002年8月1日)
- ・「文法処理する「ブローカ野」-脳の言語機能解明が前進」: 神戸新聞(夕刊), 3 (2001年4月3日).